

里山とミツバチと空中散布

報告者：井村弘子

分科会の内容紹介

・日時・場所 2010年秋に開催予定

・開催趣旨 千葉県では農業への利用で農薬の空中散布がいまだに各地で行われています。たしかに大黃雛空中賛否は着実に減少をしていますが、代わりにラジコン等を使った小規模な空中散布に切り替わっただけという意見もあります。また散布する農薬も有機リン系の強い農薬から、水溶性で人々に害の少ないというネオニコチノイド系の農薬散布に切り替わってきています。しかしここにきて、「ミツバチが消えた」という現象からトンボやバッタなど昆虫類の激減の陰で、このネオニコチノイド系農薬の危険性についての指摘が各地でなされつつあります

・開催予定 その分科会を開催する予定です。

・主催者

